



DF200形ディーゼル機関車



※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

◆実車ガイド

- ・DF200形はJR貨物が開発した電気式ディーゼル機関車で1992年に試作車が登場しました
- ・1994年に登場した0番代は全機がスカートは赤色で統一されており、1999年に登場した50番代とともに、登場時より一貫して北海道内で活躍をしています

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

＜共通＞

- ・Hゴムは黒色で再現
- ・ホイッスルは別パーツ付属
- ・前面手すり(縦)は別パーツ付属
- ・解放テコは別パーツ装着済み
- ・自連形ダミーカプラー、TNカプラー付属
- ・ヘッドライトは常点灯基板装備
- ・ヘッドライトは電球色LEDによる点灯
- ・フライホイール付動力、グレー台車枠、銀色車輪採用
- ・M-13モーター採用

＜2260＞について

- ・新塗装となったDF200-0形を再現
 - ・JR FREIGHTマーク、「RED BEAR」ロゴは印刷済み
 - ・ナンバープレートは別パーツ付属「DF200-1・4・7・11」
- ＜2261＞について
- ・1999年から製造された50番代を再現
 - ・車体側面の「JRF」マーク、「RED BEAR」ロゴは印刷済み
 - ・ナンバープレートは別パーツ付属「DF200-51・52・53・54」

＜特記事項＞

- ・＜2225＞＜2231＞＜2241＞は生産中止となります

◆ここがポイント

POINT:1

新塗装となったDF200-0形を再現



POINT:2

1999年から製造された50番代を再現

各画像は実車および試作、開発中のものです 実際の製品仕様とは異なる場合があります

品番	2260	品名	JR DF200 ₀ 形ディーゼル機関車(新塗装)	セット両数	1両
発売月	2024年10月	JANコード	4543736022602	予価	¥9,350 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	180×30×65mm	パッケージ形態	クリアケース
品番	2261	品名	JR DF200 ₅₀ 形ディーゼル機関車	セット両数	1両
発売月	2024年10月	JANコード	4543736022619	予価	¥9,350 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	180×30×65mm	パッケージ形態	クリアケース

JR貨物承認済



※写真はイメージです 実際の製品仕様と異なる場合があります

ハイモ295-315形 首都圏色



◆実車ガイド

- ・樽見鉄道は岐阜県の大垣駅から樽見駅の間を結ぶ第三セクター方式の鉄道会社です
- ・1984年10月に開業した樽見鉄道樽見線は、2024年で40周年を迎えます
- ・樽見鉄道ハイモ295-315形は1999年にハイモ180形の置換用として新製された全長16.5mのディーゼルカーです
- ・2023年7月には、国鉄時代の首都圏色をイメージしたカラーへと変更されました

【文責:トミーテック】

◆製品化特徴

- ・首都圏色となった樽見鉄道ハイモ295-315形を再現
- ・車番と社紋は印刷済み
- ・前面表示部は「大垣」印刷済み
- ・ヘッド・テールライト、室内灯は常点灯基板装備
- ・ヘッドライトは電球色LED、テールライトは赤色LEDによる点灯
- ・室内灯は白色LEDによる点灯
- ・信号炎管・ホイッスル・無線アンテナは別パーツ付属
- ・ダミーカプラー装着済み
- ・フライホイール付動力採用
- ・銀色車輪採用
- ・M-13モーター採用
- ・ミニカーブ通過可能

◆ここがポイント

POINT

首都圏色に塗装されたハイモ295-315形を再現



各画像は実車および試作、開発中のものです 実際の製品仕様とは異なる場合があります

●並べて楽しめる商品●



樽見鉄道 ハイモ330-703形

＜別売りオプション＞
TNカプラー:＜JC6360＞密自連形

品番	8619	品名	樽見鉄道 ハイモ295-315形(首都圏色)	セット両数	1両
発売月	2024年10月	JANコード	4543736086192	予価	¥9,240 (税込)
原産地	日本	パッケージサイズ	180×30×65mm	パッケージ形態	クリアケース

樽見鉄道株式会社商品化許諾済